

令和7年度 施政方針

はじめに

私が市長に就任してから3ヶ月が経過いたしました。この間、5月には沖副市長を迎え入れることができ大変心強く感じております。

これまで多くの市民の皆様の声に耳を傾け、現場に足を運び、地域の課題や可能性を肌で感じる日々を過ごしてまいりました。市民の皆様の期待の大きさとともに、本市の持つポテンシャル（潜在能力）を改めて実感し、身の引き締まる思いであります。

それでは、令和7年第4回阿蘇市議会定例会の開

総務

会にあたり、私の基本姿勢であります「誰もが幸せに安心して暮らせる阿蘇市」の実現に向け、令和7年度施政方針を申し上げます。

【総務課】

新たな市政の重点施策を全庁横断的かつ戦略的に推進し、早期実現するため、本年7月、総務部に「政策推進室（仮称）」を創設、企画立案、政策調整など総合的に対応していきます。併せて、中途採用を含めた職員採用試験を実施し、広く職員採用を進め、有為な人材の確保・育成に努め

ていきます。
また、市民の皆様方へ必要な情報を発信し、ご意見を市政運営に活かすべく、SNSなど多様な媒体の活用、年齢層に応じた情報発信など広報公聴の機能拡充に取り組みます。

【防災情報課】

阿蘇中岳第一火口は、昨年7月12日以降、火山活動は安定しており、噴火警戒レベルを維持しています。ゴールデンウィーク中には外国人旅行者の増加もあり、多くの観光客が火口見学を楽しみました。引き続き関係機関と連携し、火山活動を注視しながら、登山者や観光客の安全を最優先に取り組みます。
災害から市民の命を守る

には、市の防災対策強化はもとより、市民一人ひとりが「自助」（自分、家族）、「共助」（隣近所、地域）を意識し、日頃から備えることが重要

財政・税

【企画財政課】

深刻化する人口減少及び少子高齢化への対応、老朽施設や公共インフラの維持更新、環境・景観の維持保全及び各種産業の活性化、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進など、山積する課題に確実に対応するため、足腰の強い持続可能な行財政運営が求められています。

そのような中、現在、本市の最上位計画である第3次

阿蘇市総合計画を策定中であり、新しい魅力ある阿蘇市を創造・発信するため、中高生や市民の皆様へのアンケート調査結果等も踏まえながら、本年9月の策定を目指します。

併せて、本年度は人口減少対策に向けた「阿蘇市過疎地域持続的発展計画」、インフラを含む公共施設の長寿命化・維持更新等の方向性を定めた「阿蘇市公共施設等総合管理計画」を改定する予定です。

また、本年10月1日を基準日として、全国一斉に「令和7年国勢調査」が実施されます。国勢調査は、行政施策の基礎資料として利用されるなど、わが国で最も重要な統計調査であることから、市民の皆様への協力をお願いいたします。

予算関係では、入札に参加する事業者の皆様の利用性向上及び負担軽減等を

目的に、電子入札導入に係る関連予算を計上しております。

【税務課】

市民税は、令和6年度の「定額減税調整給付」事業で給付差額が生じた方々に対し、本年度「不足額給付」を行います。

国民健康保険税は、安定的な事業運営を図るため、7年ぶりに税率改定を行っており、改定の内容や目的を市民の方々に丁寧に説明します。

収税は、口座振替やコンビニ納付を推奨し、納付環境の拡充について周知・啓発を強化し、公正な負担と歳入の確保に努めます。また、滞納整理・処分については、関係機関と連携し、厳格な執行に取り組みます。

地籍調査は、阿蘇市全域の約66%が完了しており、残り約34%の早期完了に向けて、計画に基づき本年度

も波野地区の調査を実施します。

生活

【市民課】

平成28年1月に運用開始されたマイナンバーカードは、現在8割を超える市民の方が保有されており、各種証明書のコンビニ交付をはじめ、転出入届やパスポート申請時に利用されています。今後も市民の皆様方がマイナンバーカードの便利さを実感できるようその周知に取り組みます。

今月26日に戸籍法の一部改正が施行され、戸籍に氏名の振り仮名が記載されることとなりました。市では現在「戸籍ふりがなサポート窓口」を設置、今後本市に本籍がある方々への通知発送など、円滑な届出受付ができるよう丁寧な説明・案内に努めます。

生活衛生は、広報紙やホームページ、ごみ収集アプリなどでごみの分別や資源の有効活用について周知し、併せて環境教室や「フードドライブ」に取り組むなど、市民一人ひとりがごみ減量への理解と関心をもっていただけるよう意識啓発を行います。

【人権啓発課】

人権施策は、市民の皆様が人権を身近な課題として認識し、偏見や差別の解消に向けた取り組みを進め、様々な人権問題を正しく理解できるよう阿蘇市人権・同和教育推進協議会による活動や隣保館事業を中心に、人権啓発・教育活動に取り組みます。

男女共同参画の推進では、「第3次阿蘇市男女共同参画基本計画」の計画期間が本年度末で満了するため、市民の意識調査を実施し、実態把握に努め、価値

観や生活形態が多様化する社会情勢の変化を踏まえた今後5カ年の目標や施策、具体的な取り組みをまとめた「第4次阿蘇市男女共同参画基本計画」を策定します。

医療福祉

【福祉課】

子育て支援は、こども大綱の基本的方向性を踏まえ、策定した「阿蘇市こども計画」に基づき、きめ細かい、切れ目のない子ども・子育て支援の充実を図ります。

地域福祉は、「地域の助け合いによる福祉（地域福祉）」を推進するため、「第4次阿蘇市地域福祉計画」を策定しました。地域の団体・組織、事業者、行政がそれぞれ役割を果たし、つながり、支え合うことで、すべての住民が健やかに安心

して暮らせるまちづくりを進めます。その一つとして、災害時における避難行動要支援者の個別避難計画策定に向け、要支援者名簿の再整備に取り組み、計画策定に当たって実効性の高いものとしていきます。

多くの市民の方々が抱える複雑・多様化した相談に対しては、関係機関と連携し、生活困窮者対策・消費生活相談や生活保護制度等により、きめ細かな支援、適切な支援となるよう体制の充実・強化を図っていきます。

【ほけん課】

国民健康保険事業は、「熊本県国民健康保険運営方針」及び「令和7年度阿蘇市国民健康保険事業計画」をもとに、熊本県と連携し安定した事業運営に努めます。

また、特定健診の受診率向上や被保険者の健康保持増進に向けた保健事業を

推進、併せて医療費の適正化に向けた事業にも取り組みます。

介護保険事業は、令和6年度から令和8年度までを期間とする「第9期阿蘇市高齢者いきいきプラン」の2年目となります。引き

続き、一人ひとりが主体的に参加し、自助・互助・共助の仕組みを確立、いつまでも安心して生活できる地域づくりを目指し、より良いサービスの提供と安定した事業運営に努めます。

後期高齢者医療事業は、急速な高齢化の進展による医療費の増加が予想されます。引き続き、健診や人間ドックを受診しやすい環境をつくり、生活習慣病の発症と重症化の予防、高齢者の健康寿命の延伸及び医療費の抑制に取り組みます。

高齢者福祉では、就労等による生きがいづくり、生涯学習、生涯スポーツ等を通じた仲間づくりや健康づ

くりの機会充実、外出や買い物支援をはじめとしたきめ細やかな生活支援など、各種事業を展開し、関係機関と連携した高齢者福祉の向上に努めます。

【健康増進課】

保健予防は、「健康増進計画」及び「食育推進計画」等に基づき、全市民の健康診断後の継続した保健指導及び健康アプリ等を活用した病気の予防・健康づくりを推進、健康寿命の延伸を図ります。

带状疱疹ワクチンは、令和7年4月からの定期接種化に合わせ3月末で廃止する予定だった任意接種者への助成事業を9月まで延長、助成機会の確保を図ります。

母子保健は、「こども計画」及び「母子保健計画」に基づき、安心して子育てできる環境づくりを進め、引き続き関係機関と連携、相

談事業や妊婦及び子育て家庭への切れ目ない支援に取り組みます。その一つとして、妊産婦及び中学生までの子どもがいる世帯を対象に24時間365日「チャット」で医師に相談できる「医療相談アプリ」を導入し、突然起こる家族の体調変化に不安を抱えることなく、安心して子育てができる環境を整備します。

【阿蘇医療センター】

阿蘇医療センターは、国の第8次医療計画に基づく政策医療である「5疾病6事業」のうち4つの疾病（脳卒中・急性心筋梗塞・がん・糖尿病）と、5事業（救急医療・災害医療・へき地医療・小児医療・新興感染症対策医療）及び「在宅医療」の保健医療施策を担っています。

阿蘇医療圏の特徴的疾患である糖尿病・腎臓病は、院内の「糖尿病・代謝・内分泌内科」と「腎臓内科」の医師

等による、住民を対象とした糖尿病・腎臓病教室等を継続して実施、予防啓発に取り組んでいます。

地域医療に関しては、高齢患者の増加に対応するため、在宅医療支援をはじめ、院内の医師・薬剤師・技師等の多職種チームの活動とともに、院外の薬局・介護等施設・救急隊・行政等の異業種団体との協働のもと、患者急変時の横断的連携を図っています。

医療従事者の確保については、本年4月から医師1名を増員。一方で、看護師、薬剤師等の確保が困難な状況にあり、県内外の養成施設の訪問と併せて、阿蘇圏域出身者の人材確保に努めます。また、研修医や実習生の受入れは、後年の当院就職の動機づけにもなっていることから、今後も積極的に受入れていきます。

昨今の人件費・物価の高騰に診療報酬の改定が追い

推進等に積極的に取り組み、満足度の高い観光地を目指します。

【まちづくり課】

地域経済は依然として燃料費・原材料料費等の高騰、生活関連商品の相次ぐ値上げが続いています。こうした中、地域経済の牽引・促進及び市民生活の支援を目的としたプレミアム商品券などの対策を関係機関と連携しながら進めています。

ふるさと応援寄附金事業（ふるさと納税）は、寄附者の獲得を目的として、ポータルサイト内広告の運用強化や、新たな地域資源の掘り起こしによる返礼品の開発、プロモーションの充実に努め、本市のSNSなど情報発信手段も活用しながら、引き続き寄附金増収に向けた取り組みを推進します。

「阿蘇市移住定住支援センター」は、開設から半年が

付かず、全国の7割以上の医療機関で昨年度（令和6年度）収支は悪化、厳しい経営状況にあります。阿蘇医療センターも大変厳しく、病床利用率の向上をはじめ様々な改善策を講じているところです。

今後も引き続き、阿蘇市及び阿蘇医療圏の政策医療並びに中核的医療を担う拠点病院として、地域の医療需要や環境変化に適応した機能の整備充実に努めていきます。

経済

【農政課】

国は、今後5年間の農業政策の方向性を定める「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定、農業の構造転換を集中的に進めながら、食料安全保障の確立を目指しています。農業政策の転換期を迎え、本年度も引き続

経過、相談件数も増加しています。引き続き空き家バンクの様々な情報をもとに移住・定住に関する相談に応じ、ワンストップできめ細やかなサポートを行っていきます。空き家活用リフォーム支援事業は、従来は県外移住者のみを対象としていましたが、本年度から県内移住者にも対象を広げるなど、更なる移住者の増加につなげます。

併せて、外国人が住みやすい地域づくりのため、生活に役立つ情報を多言語で説明・紹介した「暮らしのサポートブック」を拡充します。

インフラ

【建設課】

中九州横断道路は、半導体産業等を支え、平常時・災害時を問わず安全・円滑な人流・物流を支える道路

き制度の動向を注視、J・A・農畜産業関係団体・地域農業再生協議会等と合同会議を実施するなど連携を強化し、生産者等の視点に立った農業振興を図っていきます。

また、農林水産省の若手官僚が地域の課題解決を支援する「地方応援隊」に本市が選定され、2年間の支援を受ける予定です。今後、農林水産省からのアドバイスを受けながら、本市のあるべき農業政策の確立を図っていきます。

阿蘇東部地域は、農業生産を支える基盤整備事業等の早期採択を求めています。併せて、大蘇ダムの農業用水を利用した新たな営農体系を確立し、高付加価値農業の実現に向けた取り組みを進めています。

近年、有害鳥獣による農作物や農業用施設への被害が拡大していることから、捕獲従事者の育成・確保を

進め、イノシシ、シカの個体数調査や被害調査を実施、より効率かつ効果的な対策を進めています。

草原維持は、県による地下水涵養の推進策が、草原も対象に先行して実施されることから、今後の事業検討や財源配分等について注視し、引き続き地域と畜産業の共存、地域に根差した畜産業の振興を図っていきます。

市道狩尾幹線は、技術検討委員会での協議を踏まえ、地元への説明と理解を得ながら、牧道としての代替ルートも含め検討していきます。

【観光課】

本市の観光は、令和6年の観光入込客数は626万人と過去20年で最高を記録しました。宿泊客数は62万人で熊本地震前の平成27年比80%まで回復、そのうち外国人宿泊客数22万人は過

ネットワークとの位置づけから、国の予算も重点的に配分されています。

今後も現在整備中の「竹田阿蘇道路」、「滝室坂道路」、「大津道路」及び「大津熊本道路」の事業促進と、阿蘇市管内の「滝室坂」北側復旧道路間の計画段階評価への早期着手を関係機関へ強く要望していきます。

阿蘇山直轄砂防事業は、管内13カ所中6カ所で整備が完了、現在4カ所が施工中であり、残り3カ所は来年度以降の着工に向け、用地測量等が進められています。

阿蘇山直轄砂防事業促進期成会（阿蘇市・高森町・南阿蘇村）では、さらなる地域の安全向上のため、国に対し予算確保・整備促進の要望活動を行っています。

市管理河川は、土砂堆積等が顕著な河川の浚渫や支障木の伐採について、年度当初から随時計画的に発注しています。

河川改修は、住宅隣接地の護岸整備を行うなど防災減災対策を進めていきます。

市管理道路は、各区の要望、通学路の安全対策なども含め老朽化した幹線道路等の舗装整備を中心に進め、計画的に取り組みます。併せて、道路破損等の情報には迅速に対応し安全確保に努めます。

【住環境課】

市営住宅は、坊中南団地の建設が順調に進んでいます。現在、建物2階部分の躯体コンクリート打設を完了、建物全体の形状も現れており、来年1月竣工を予定しています。既存住宅では、「阿蘇市営住宅総合基本計画」及び「阿蘇市公営住宅長寿命化計画」に基づき、修繕や改修を行い、老朽住宅の用途廃止及び解体撤去による集約再編、将来を見据えた総合的な建て替えを検討していきます。

環境事業は、「A S O 環境共生基金」を活用し、将来の担い手である子どもたちへの環境教育や自然体験学習を継続して実施、景観を阻害している雑木林の伐採等、景観整備を図っていきます。

阿蘇の草原に生息・生育している希少野生動植物の無断採取や盗掘等の防止のため、阿蘇市野生動植物保護監視員と連携して、パトロール巡回の強化に取り組んでいます。

【上下水道課】

水道事業は、安心・安全な生活用水の安定的供給に向け、水質管理及び水道施設の維持管理を適正に継続、老朽化が進む水道施設の更新整備を効率的かつ計画的に行います。

下水道事業は、昨年度から移行した公営企業会計の利点を活かし、経営状況の確な把握と事業会計の透

明化を図り、健全な事業運営に努めます。また、下水道未普及地区の整備として、南黒川地区の管渠整備を継続的に進め、老朽化した浄化センター監視制御装置の更新事業に取り組みます。

特に本年度は、水道事業・下水道事業ともに安定した事業継続、中長期的な経営の基本計画として策定した「経営戦略」を見直し、人口減少による収益の減少、物価高騰などに起因する維持管理費増大や今後増加する更新費用等を長期的に見据え、持続可能な事業運営のため、料金適正化の検討も始めます。

教育

【教育課】

学校教育は、学校・家庭・地域社会が一体となり、人権尊重の精神を根底に、社会の変化に主体的に対応

し、恵まれた自然環境や貴重な文化財を活かしながら、心豊かな人間性、社会性を備え、郷土を愛するたくましい子どもの育成を目指し、阿蘇市「探究的な学びの郷づくり」構想に基づく教育活動に取り組んでいます。

社会教育は、生涯学習講座、公民館活動等、生涯を通して学べる環境の整備充実を図り、市民が生涯にわたって生きがいと潤いのある生活を営むことができる生涯学習社会の実現を目指します。

また、コミュニティ・スクールと「地域学校協働活動」を一体的に推進していきます。

社会体育は、「誰もが、いつでも、どこでも」を合言葉に、地域住民が気軽に親しみ、体力の増進とともに健康づくりに取り組み、また、小学校低学年から各種スポーツに親しむことで、基礎体力とスポーツ競技力の向

上が図られるよう、スポーツの振興に取り組みます。

世界文化遺産登録推進は、引き続き県及び阿蘇郡市7市町村と連携のもと、阿蘇の文化的・学術的価値について国際的に発信し、景観保全対策等に取り組むなど早期登録に向け努力していきます。

おわりに

市の公共施設については先に少し述べましたが、特に今年度からは老朽化した内牧小学校校舎等の建て替えについて検討を進めるほか、これまでの課題でもあった旧いこいの村・旧ひのくに会館・旧宮地小学校などの遊休公有財産やアゼリア21温水プールについても、住民ニーズを把握したうえで、費用対効果や財政的負担など長期的視点に立ち、今後の活用等の方向性を

阿蘇市長

松嶋和子



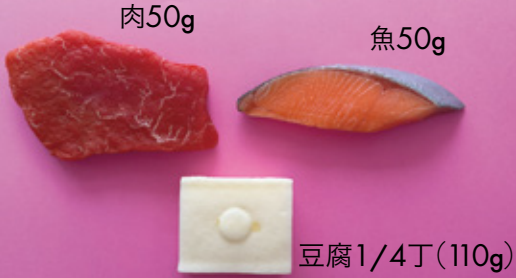
毎月19日は食育の日です

健康増進課 ☎22-5088

食べることは生きることであり、健康な生活を送るためには適切な食品を選択し摂取する力が必要になります。
摂取する食品の種類に偏りがあれば栄養は満たされません。

以下の4つの食品群をもれなく組み合わせることが健康的な体づくりの基礎になります。

1日に摂りたい食品の目安量

1群	不足しがちな栄養素をバランスよく含む	2群	細胞や筋肉の修復、 血液の材料となるタンパク質が豊富
			
3群	体の機能を正常に保つために不可欠な ビタミン・ミネラル類が豊富	4群	体温を保ち、 脳や体を動かすためのエネルギー源
  		★性別・年齢・体格・活動量により必要なエネルギー量が変わるため主食量を中心に調整が必要です。   ※糖尿病、高血糖のある人は10g/日以下。	

適正体重を維持するために、まずは自分に必要な1日のエネルギー量を計算してみましょう。

阿蘇市ホームページ



令和7年度 主な事業

費目	事業名	予算額
総務費	LPガス価格高騰対応生活者支援事業補助金	4,970万円
総務費	くまもと県市町村電子入札共同システム導入事業	1,380万円
総務費	内牧支所所管施設照明器具LED化工事	650万円
総務費	物価高騰対応重点支援給付金(不足額給付分)	1億円
民生費	隣保館(カルデラASO)長寿命化改修事業	1,230万円
衛生費	予防接種業務委託料(新型コロナワクチン接種分)	1,460万円
衛生費	子育て世帯向け医療相談アプリ事業	150万円
農林水産業費	旧共同利用施設解体撤去工事(旧椎茸栽培施設)	2,280万円
農林水産業費	旧役犬原野菜集出荷場倉庫解体撤去工事	1,530万円
農林水産業費	狩尾幹線代替ルート検討調査業務委託料(復興基金)	1,230万円
農林水産業費	イノシシ個体数推定及びイノシシ、シカ被害状況調査業務委託料	430万円
商工費	商店街環境整備強化補助金	1,040万円
商工費	スズラン自生地公園復旧工事(復興基金)	1,860万円
商工費	なみの高原やすらぎ交流館給湯設備等改修工事	1,410万円
商工費	あそ四季彩改修工事	1,360万円
商工費	空き家活用のためのリフォーム等支援事業補助金(独自事業分)	350万円
商工費	阿蘇駅前噴水広場噴水設備改修工事	520万円
土木費	道路維持工事	5,000万円
土木費	管理河川掘削等維持工事	1,000万円
土木費	坊中南団地(市道坊中中住宅線)道路改良工事	2,340万円
消防費	阿蘇市防災士養成講座事業	120万円
消防費	自主防災組織活動支援事業	200万円
教育費	学習者用情報端末(iPad)更新整備事業	1億2,060万円
教育費	小学校照明・空調設備設置工事設計業務委託料	1,100万円
教育費	一の宮図書館LED修繕工事	200万円
教育費	一の宮図書館空調工事	560万円
教育費	農村公園あびか多目的グラウンド屋外照明改修工事	7,680万円
教育費	食材費高騰に伴う学校給食食材費等助成金	1,710万円